

☆Thank you all our SPONSORS☆

ご協力頂いた企業様

※敬称略・50音順

<総合的な支援を頂いた企業>

株式会社イワモト  
スズキ株式会社  
本田技研工業株式会社  
マイスタークラブ

<資金を提供して頂いた企業>

株式会社恭和  
帝国ピストンリング株式会社

<部品の無償提供・加工・走行場所を提供して頂いた企業>

NTN 株式会社	T's total automobile sport
株式会社 D.I.D	株式会社 ITM
株式会社 アネブル	株式会社 井上ボーリング
株式会社 エフ・シー・シー	株式会社 ソケットセンター
株式会社 東京アルアンドデー	株式会社 東日製作所
株式会社 バイオラックス	株式会社 ハイレックスコーポレーション
株式会社 富士精密	株式会社 森清化工
株式会社 リトル・ガレージ	株式会社 レーシングサービスワタナベ
小原歯車工業株式会社	サイバネットシステム株式会社
住鋤潤滑剤株式会社	ジュニアモーターパーク クイック羽生
ソリッドワークス・ジャパン株式会社	帝都ゴム株式会社
寺田製作所	東急自動車整備専門学校
東京都立科学技術高校	永田製作所
日軽金アクト株式会社	日産ディーゼル工業株式会社
日新鋼管株式会社	日本軽金属株式会社
日本ユピカ株式会社	不二製作所
古河電池株式会社	有限会社 インタースピードジャパン
有限会社 鈴木製作所	

<協賛>

BP カストロール株式会社	株式会社 アクティブ
株式会社 協和興材	株式会社 小山ガレージ
株式会社 プレンボ・ジャパン	桑原インターナショナル
東急自動車学校	トガシエンジニアリング
日産自動車株式会社	三井生命保険株式会社
有限会社 ラフアンドロードモーターサイクルズ川崎店	

ご支援・ご協力、誠に有難う御座いました。

ありがとう

2007年度全日本学生フォーミュラ大会参戦者

ファカルティアドバイザー  
内燃機関工学研究室 准教授  
氏名:三原 雄司

プロジェクトリーダー  
機械工学科3年  
氏名:高橋 弘治

シャシ班リーダー  
機械工学科3年  
氏名:増田 好晃

パワーレイン班リーダー  
機械工学科2年  
氏名:近藤 亘

エンジン・エレクトロニカル  
機械工学科3年  
氏名:安藤 靖浩

フレーム&アッブライト  
機械工学科2年  
氏名:橋本 絃樹

インテリア  
機械工学科2年  
氏名:佐々木 光

アクスル&インバウトアッテネータ  
機械工学科4年  
氏名:春川 祐介

エキゾースト&アドバイザー  
機械工学科4年  
氏名:田代 尊久

エンジン  
機械工学科4年  
氏名:土屋 真吾

アドバイザー&ドライバー  
機械工学科4年  
氏名:倉部 陽平

アドバイザー  
機械工学科4年  
氏名:辛島 亮之

吸気  
機械工学科4年  
氏名:高橋 豊明

シャシ班  
機械工学科1年  
氏名:小林 聖太

シャシ班  
機械工学科1年  
氏名:岡島 学

シャシ班  
機械工学科1年  
氏名:加藤 哲也

エンジン班  
機械工学科1年  
氏名:原 克幸



**プロジェクトリーダー変更のお知らせ**  
(チーム窓口が変わります)  
工学部機械工学科2年  
氏名:佐々木 光  
E-mail:g0611062@sc.musashi-tech.ac.jp

〒158-8557  
東京都世田谷区玉堤1-28-1  
武蔵工業大学  
内燃機関工学研究室内F-SAEチーム  
TEL 03-5707-2100(内線2582)  
FAX 03-5707-2171

Musashi Institute of Technology F-SAE Project 2006-07  
5th Student Formula SAE Competition of Japan Report

2007年10月29日発行  
編集人:高橋 弘治  
編集:武蔵工業大学 MI-TECH Racing 〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1  
TEL:03-5707-2100(内線2582) 印刷:工房

5th student competition of Formula SAE Japan Report

5th student  
**Formula**

Competition of  
**SAE Japan  
Report**

第5回全日本学生フォーミュラ大会

**Total 16位**/61校

省エネ賞 1位  
コスト審査 2位  
自動車工業会会長賞 6位

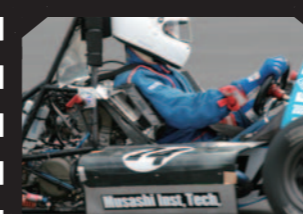
Dynamic event

Acceleration -  
Skid Pad -  
Autocross 18位  
Endurance 20位

Static event

Cost 2位  
Design 30位  
Presentation 7位

**Thank You all our SPONSORS!**





## 第5回全日本学生フォーミュラ大会参戦記



### 9月12日(車検、静的イベント) ☁️

この日は車検日でした。この車検に合格しないと大会の動的イベント出場資格を得られません。昨年はMi-TECH Racing初の一日目に合格を果たしました。今年もこの日のためにOB方呼んで車両の車検を行っていただき、これを元に車両改修を行ってきました。

一回目の車検は静的イベント時間と重なってしまったため途中までとなった。すると車検開始直後、レギュレーション違反部分が発覚。さらにはサスペンションのストローク確認検査でアームが強度不足で破損。これは一大事。すぐに作業内容を確認して修復作業に取り掛かった。しかし、静的イベントもあり思うように作業が進まない。結局修復完了が15時。車検終了時刻は17時。すぐに二回目の車検へ。内容は一回目の途中からの車検。するとここでもまた問題発覚。今度は安全上の問題。この日はもう修理工場は終了していた。仕方なく残りの作業の最終確認をしてこの日はすぐに宿舎に戻った。宿舎に戻るとすぐに腹ごしらえを済ませて夜間作業に突入。発電機を利用して、ワゴン車の後部で修復部品の加工を行い、作業は5時まで続いた。



### 9月13日(車検、オートクロス) ☁️

この日は午前中アクセラレーションとスキッドパッドという動的競技が行われる。このイベントに参加するべく修理工場にて昨日徹夜で製作した部品を急ピッチで車両に溶接していく。思った以上に時間が掛かった。焦る。ようやく修復完了。急いで三回目の車検へ。ようやく車検合格。が、そのころすでに午前中の動的競技は終了していた。仕方なく午後からの動的競技のオートクロスに目標を切り替えた。午後一で練習走行を行い、いよいよオートクロス。今大会においては初めての動的競技。きちんとコースを走るか、トラブルはでないか、不安が募る中走行開始した。思った以上に順調な走りだった。



### 9月14日(エンデュランス) ☀️

この日はエンデュランス競技日。前日のオートクロスの順位から、自分たちのマシンM2007が出走するのは13時となった。午前中は最終調整のため、練習走行を行うこととなった。午前中出走のチームが優先して練習走行を行う中、自分たちは順番待ち。そして自分たちの番。順調に走り出した。しかし練習走行が2分を経過したとき、マシンが緊急停止。近寄ってみるとフロントライトアーム損傷していた。これはやばい。自分たちの番まで残り3時間。すぐに作業確認して修復作業開始。メンバー16人総動員であっちこっちを駆け回る。他大学やプロの力も借りて何とか出走30分前に作業完了出来た。そして迎えた最終競技。これは22kmの耐久走行。走りきれるのか、ドライバーはミスしないか。これ以上ない不安に駆られる中、四周目にコースアウト。エンジンが再始動しない。やばい。不安と焦りが絶頂に達する寸前、何とかエンジン再始動して走行再開。その後は順調にタイムを重ねて、ついに22km完走。長かった。帰ってきたマシンはほろほろに輝いて見えた。本当にご苦労様。そしてお帰りなさい。

今大会の競技はこれにて終了。後は表彰を待つのみ。せっかくなので記念撮影を行った。そこで一時はどうなることかと冷や冷やしていたメンバー全員の満面の笑みが撮れた。やっぱりうれしいんだ。



### 9月15日(表彰式) ☀️

待ちに待った表彰式だったがこの3日間の出来からは余り期待ができなかった。それでも今大会では省エネ賞1位、コスト審査2位、自動車工業会会長賞6位と何個か賞を頂いた。しかし狙っていた賞とは違いやりきれない気持ちだった。このやりきれない気持ちを来年に繋げていこうとメンバー全員が心を改めたことだろう。



### 第5回学生フォーミュラ大会を終えて

今年のチームは決して旨いチームではなかった。車両はよかったがマネージメントが悪くメンバー全員の意識の統一が図れておらず、全員の目標もいまちはっきりしていなかった。やはり今大会ではチームの悪いところがあからさまにでてしまったが同時にチームの良いところも発見できた。毎年思うが大会では何が起るかわからないが一年間の集大成が十分に出来るのは間違いない。その一年どうだったのか。結果が物語る。しかしこの結果こそが次につながる重要なファクターである。Mi-TECH Racingは日々進化する。この結果をどう生かすかで次の一年が変わってくる



### Mi-TECH Racingの展望

私達Mi-TECH Racingは第1回大会から参戦しております。今大会で5年目を迎えますが、その間に、技術的な問題・伝承の問題・組織運営の問題などたくさん問題にぶち当たってきました。毎年その問題解決を図ってまいりましたがまだまだ組織として未熟であります。今年もまた同じような問題が起きてしまったことは本当に残念であり皆様には大変申し訳なく思っております。

今大会での組織運営でなにが一番悪かったのか…チームで話し合った結果それはチームとしての目標が統一できていなかったことであると考えました。いくら個人が大会優勝の目標を持っていたとしてもそれを達成するためのプロセスがはっきりしないこと。これが一番の問題であったと思います。

私たちMi-TECH Racingの最終目標はいつも優勝であり、それに対する思いは変わることは無いでしょう。しかしこの最終目標を達成するまでのプロセスを統一することが出来なければ優勝は難しく、これを考えていくことがチームであるはず。今更では有りますがこの気持ちを忘れないことは非常に大事であると思うのです。

一人ではなしえない目標をメンバー全員で共有し協力しながら最終目標を達成させます。Mi-TECH Racingの目標であり皆様の期待でもあろう優勝目指して今後もMi-TECH Racingは進化し続けます。今後も皆様のご協力に預かりと共に頑張らせて参ります。宜しくお願い致します。

Mi-TECH  
Racing

